

市民との意見交換会会議録（白沢中学校区）

報告日及び報告者 H28.11.30 菅野健治、三瓶幹夫

1. 日時 平成28年10月25日（火）午後6時30分～午後8時30分
2. 場所 白沢公民館 第2研修室
3. 出席議員 渡辺由紀雄 渡辺忠夫 渡辺善元 根本七太
菅野健治 三瓶幹夫 石橋今朝夫（7名）
4. 出席市民 12名
5. 会議経過

【午後6時30分開会】

- ◇ 議員 開会宣言
- ◇ 渡辺忠夫議員 挨拶

足元の悪い中、出席頂きありがとうございます。4回目を迎える市民との意見交換会を開催します。皆様には市議会へのご理解を頂きありがとうございます。意見交換会は平成27年6月に策定した市議会基本条例に基づいて、市民との連携を推進して市政の課題に柔軟に対応し、市民参加の機会及び市民の意見を市政に反映させる機会の確保をする為に、議会活動の状況を地域に出向いて市民の皆さんと意見交換し説明しながら、さらに議会活動や市政に対する意見などをお聞きしながら、開催してきました。また意見交換会を通じて出た意見などは精査をしながら、議会で対応するもの市政側に意見を申し上げるものなどに分けながら、今後生かしていきたい。この意見交換会は、議員個人の意見や考え方や意見を尋ねられてもお答え出来かねる場合もある。

（その後、出席議員が各自氏名、所属委員会を自己紹介、事務局の自己紹介を行い報告に入る）

【報告】

- ◇ 渡辺善元議員
別途資料第4回本宮市議会市民との意見交換会（会場で配布）により、議会構成、定例会、臨時会の審議の概要、会派の導入と政務活動費について報告を行う。

《質疑 要旨》

問（市民）44号の資料で政務活動費について可視化が不十分で、事務局に問い合わせで見ることが出来るが、現在、インターネットが普及しているので各

自が問い合わせすることなく検索し、政務活動費の使途の状況を知る事が出来ないのか？

答 渡辺由紀雄議長

全国では富山市議会が話題になっている当市議会では月額1万円年間12万円の使える権利を与えられている。各会派、各個人からは議長あてに収支報告書を提出することになっている。今お話があったインターネットを使用しての使途の公開は可能ではある。そういった意見が多いのであれば議会としても検討していきたいと思うし、良い機会なのでそういった方向で調整していきたい。

問（市民）分かったうえで質問をさせて頂いた。常に誰でも見る事が出来るように、問い合わせをしなければ見れないのは時代錯誤ではないか。常に見る事が出来る状況にあってほしい。

答 渡辺由紀雄議長

そのような方向で進めていきたい。

問（市民）政務活動費の監査について

答 渡辺由紀雄議長

それは受けていない。年度末に使途を報告するようになっている。議長が見ている。

問（市民）個人と会派では差がある。政務活動費支出ゼロと言う事は仕事をしていないのではないか。各議員のレベルがあっていないのではないか。今後検討すべきではないか。

答 渡辺由紀雄議長

ゼロという方もいるがおおかた無会派の議員の皆様である。会派に所属している議員は年に1度他の市議会に研修に行ったり会派の広報紙を出したり資料を購入したりと使い方は限られてしまう。個人ではなかなか研修は行けない。相手側の自治体も一人では受け入れて頂けない。ただ今年の4月からはもう一つできまして無会派議員が今4人になっている。政務活動費を使っていないから仕事をしていない訳ではないが、ただ何に使って良いのだろうという方もおります。疑念を持たれるくらいならいっそ使わない方もいる。使う権利を頂いても行使していない方もいる。

問（市民）政務活動費を頂いて、使わなかった方が一人いる。改選前もおりました。政務活動費を申請し、半年や1年で結果的に貴重な浄財なので使わなかったという言い方もあるが、議員の半年や1年の政務活動を予測できない方が5年後10年後の市の予測を出来るのか疑問を持っております。全額返金したのだから法的には問題はないのだと言い方もあるが市民目線から見るとおかしい使い方である。

答 渡辺由紀雄議長

会派制、政務活動費の導入については慎重な審議をして来ました。議員や会派の資質を上げるために導入してきましたので支出ゼロというのは残念である。これからも頂いた提言を議会で話し合い、有効に使用させて頂き、本宮市の為になるような勉強をしていきたい。

【意見交換】

1. これからの地域のあり方・活性化について
2. その他

根本七太議員 地域のあり方はだいぶ変わってきました。少子高齢化はありますが平成23年の地震発生以来違った環境の中で地域がおかれている状況である。5年が経過し復興の道筋が見えてきているが地域はこういうふうにしていくべきではないか。議員がこういうふう動くべきではないかとかいう要望でも構いません。議会は執行者ではありませんので要望を即座に答える事は出来ません。要望をしっかりと市へ伝えるというような意見交換会ではないかと思えます。結果を頂きたいというものは控えて頂きたい。即答できないものに関しては用紙にて後日回答をさせていただきます。

問(市民) 道路の維持管理についてです。山林の管理をする方が少なくなってきた。特に自宅から離れているところはどうなっているのか分からない方がいるのではないかと思います。若い方はサラリーマン、親は高齢となるなか今後どうしていくのか。仕方ないでは済まされないで酷い部分一例を挙げます。近所の市道は片側が田、道路が有りU字溝、山と続きます。この山のよせ刈りをやっても木の枝が道にかぶさって通行に支障をきたしている。道幅が狭くなっている。交通安全上支障をきたしている。工業団地の通勤の道路にもなっている。U字溝につまっている。ゴミも多い。毎日状況は同じである。高松の寺の道路の草刈りの際、刈った草・枝がU字溝に貯まり塞いでいる。道幅も狭くなっている。同じ例である。なんらかの方法(除染等)で除去してもよいのではないか。もう一つは、白沢シルバースポーツセンターの利用の件です。現在の利用状況はゲートボールだけのように思われる。野球・サッカーなどの屋外スポーツの活用はどうか。雨・雪でもできるのではないか。ガラス面にネットを設置することで可能かと思います。先日完成したまゆみアリーナもそうなっているのかと思います。高齢化社会の中でシルバースポーツも盛んであり屋内で体を動かすことは重要です。広報もとみやの市長の一言でまゆみアリーナは市民の運動機会の確保と健康増進を図るのが目的であると掲載されている。白沢地区にも同様の施設があっても良いのではないか。アリーナの使用料ですが、夜間2面2時間6400円で

すが、市民の健康増進を図る観点から使用料をとるのは如何か。大玉村では使用料を頂いていないとお聞きするが。

答 根本七太議員

質問は、一つは環境に関して環境を良くすることで地域のあり方も変わる。二つは、白沢シルバースポーツセンターをまゆみアリーナと同じような施設をつくれなから。3つめはまゆみアリーナの使用料の減免の件です。意見としてあげさせていただきます。地元でも田・畑にカンの投げ捨てが多いので困っている。同様にらしてご意見は如何ですか

問（市民）地域の方が積極的に対応している。ただ草を刈っていないところにはゴミがあるのではないから。環境美化は朝の一時間でしか対応していないのでシルバースポーツセンターの方が対応しているが回りきれないのではないから。

答 根本七太議員

捨てないことの対策をどうするか。提案型で市民の皆様ありませんか。

問（市民）会社で月1回実施しているところもある。荒井のイワキ、アサヒビールなどがある。ゴミは工業団地の一員ではないかと思う。市から各企業に周知をしてもよいのではないから。

問（市民）自社でもやっけて、軽トラック2台になる時もある。小さい時の教育が大事である。会社や現場ごとに実施している。

問（市民）通勤の時に捨てる。一番は個人のモラルである。会社から周知するのがよいのではないから。

答 根本七太議員

企業によっては実施している。東笹田工業団地で組織が結成している。組織で実施すればよいのではないから。

問（市民）企業からの意識付けが大事であり、ゴミ捨ての罰金の条例は市ではありますから。

答 渡辺由紀雄議長

ゴミ捨ての罰金の条例は市ではありません。

まゆみアリーナ使用料にらして、本9月議会で条例を可決しました。原則として市民が利用するスポーツ少年団、スポーツ団体、高齢者の団体等、市長が定めることにより減免措置を講じる。原則として市民の方が利用する場合は無料になります。

答 根本七太議員

建築費は国の助成を頂けるが、維持管理費は市の持ち出しであり、利用者から使用料を頂かないと運用ができない。

問（市民）人口減少特に和田です。市のキャッチフレーズは定住促進です。和田の児童が減少している。ドリームライン沿線の開発を是非要望する。短期、長期するものはあるが、工場誘致、住宅団地造成人口が増える方策将来のビジョンを要請して頂きたい。

答 根本七太議員

私は和田出身であり、道路は平成7年より着工、当初よりはドリームラインの市の考えは変わっている。

答 渡辺由紀雄議長

和田地区の減少問題は毎回話が出ております。根本議員も毎回のよう一般質問をしております。人口増加は、働くところがあること、住むところがあること、子育て施策がしっかりしていることが考えられます。企業誘致に関して現在の社会情勢では手を上げる企業がない。議会でも要望はしている。

意見交換会なので出席者の皆様は、どうしたら良いと思いますか。

10年前に比べ松沢地区の人口がそっくりなくなった状況である。

問（市民）大玉は人口が増えている。避難者の方も多いと聞く。造成して分譲では間に合わない。今できる事は、減反している土地を宅造してはどうか。

答 渡辺由紀雄議長

市では宅地開発は行わない方針である。民間開発業者に対し1区画20万円の奨励金を出している。大玉村は積極的に取り組んでいるがひずみが出ており幼稚園・保育所の待機児童が増えている。新聞報道もされた。平行して進めていけないといろいろな問題が出てくる。

答 根本七太議員

糠沢地区も一時は現在のみずきが丘と同じ現象だった。糠沢小学校も増築をしたが現在は空き教室となっている。みずきが丘も同様になってしまう、継続的な施策が必要ではないか。5年に1回は住宅団地を造成するとか計画的な施策が必要と思うが一例ですが提案はありませんか。

答 渡辺由紀雄議長

転入の施策も大事だが、若い方が転出しない施策を講ずるべきではないか

問（市民）まずは地域の環境を整備すること。阿武隈川が流れている小学校時代魚が泳いでいた、60年で環境が変わった。和田1区にポンプ場があり揚水をして田を作っている。汚れた川の水で白沢地区の田を作ってお米を食べているがそういった環境で子や孫を住ませたいと思いますか。阿武隈川の再生が大事でそこから出発しないといけないのではないか。定住から遠ざかってしまうのではないか。あくまでも提言です。郡山で活動をしている。

答 根本七太議員

一つ前のドリームラインに関しては意見として取り上げ、まとめ執行部へ提出

します。地域のあり方について以前は良かった水もきれいだったが経済成長のひずみが川の汚れ等に繋がっており、少しでも昔の良さを戻さなければならぬ。

問（市民）阿武隈川の汚い水で米を作っていますね。大玉村はキレイな水で作っている。汚れた水で作った農村地域（白沢地区）に定住しますか。

答 根本七太議員

迎える環境をしっかりと作らなければならない。農業問題に関して渡辺善元議員如何ですか。

答 渡辺善元議員

難しいお話ですが、確かに環境浄化の中で河川の水を浄化するボランティア活動に頭が下がる思いである。白沢地区は阿武隈川の水が上がってこないと作付けできない現状である。有害物質は発生していないので心配はいらぬが望みはキレイな水で作りたいのはその通りである。白岩川の色付水の流れる問題で工業団地の関係から心配されたが関係機関で分析した経緯があるが、分析上は問題ない現状である。浄化槽が普及の中で解消されているが皆さんと知恵を出しながら進めていくので努力していくので提言を頂きながら進めて参りたい。

答 渡辺由紀雄議長

みらい創和会で朝来市に視察研修に行きます。山村部であり農業が盛んであるが市外からの移住があり定住トップクラスである。環境面の充実かもしれない。全国で2番目である。しっかりと視察研修して本宮市にも生かしたい。

答 根本七太議員

白岩川色付水ですが保健所の調査（BOD）は問題無いが、中和する機械があるが設備を導入すると企業は倒産してしまう。水は問題無いが、今はそのままである。現状は環境良くするには色付水で作付けするのは如何なものかと思えますので提言し取りまとめ執行部へ伝えたいと思います。

問（市民）子ども達が地元に戻り家を建てたいと思っても土地がないので大玉村や郡山市へ行ってしまうので、10区画のミニ造成売れたら又新たに10区画造成すると人口は増えると思うが如何ですか。

問（市民）定住増の土地問題に関し、市では民間企業へ依頼するという事で進めているがこれではなかなか進めないのではないか土地は市で確保し、その段階でゼネコンや建築業者にその段階で依頼する方法が一早いのではないか。現に長屋地区で商売をして事務所を構え2代目ですが、土地狭いため土地を探しているが田しかない。その土地が購入できないので他地区に移動するしかない。田も重要だがあれば農業委員の了解を頂き、土地を提供して頂きたい。手狭な為に従業員・駐車場の確保も難しく他地区に移転するしかないのではないかと思っている。おまかせではなく市で確保して頂き、一般企

業に募集し委託するのも良いのではないかと考えている。

答 根本七太議員

現在、市は民間企業に委ねる方法で出来ている。不動産業者の話によると本宮市は他地区より規制が厳しいため近隣の大玉村などへの住宅開発が進んでいる。市でも積極的に開発するスタンスを取るべきと認識し市へお伝えする。

答 渡辺由紀雄議長

このことは議会としても一般質問等で取り上げている市営の住宅団地は造成すべきだと言っている。市としてはトラウマになっており町時代のIC周辺の工業団地の大幅赤字を抱えました。工業団地はオーダーメイド方式による誘致、住宅団地は民間による開発である。ただ自治体で造成すれば買主も安心して購入する。民間よりは自治体の方が安心感はある。引き続き要望していきたい。民間企業で売り出すときも市推奨の優良宅地という市のお墨付きをつけて販売してみても提案しているが実行していない。

答 根本七太議員

議会側でも一般質問等で積極的に伝えている。しかし市政懇談会でも同様の話が出るが議会の意見交換会での意見は大きい。貴重な意見を頂き、是非提言していきたい。

問（市民）先ほどの意見は、5棟分でも10棟分でもまずはやってみてどうなるのかと言う考えも必要です。住んでみたい市の上位という事から上位の条件から追ってみても良いのではないか。

答 根本七太議員

現実、市民の中ではえっ、そうなの？という声が多い。結果的にはみずきが丘の人口が増加し結果、定住増しており、しかし28年度の予算でも定住促進してみたい市の中で婚活などをしているので結果少しずつ変化はしている。長い目で見なければならぬこともある。

答 渡辺由紀雄議長

住みよさランキングで本宮市は福島県では7年連続1位、東北北海道では7位である。データを元に弾き出しているのも市民の方も誇りを持ってれば、子どもも誇りを持つのではないか。

答 渡辺忠夫議員

白沢村で、住みにくさランキングで90位（市町村90時）の時があった、過疎地を脱却した経緯があった。住宅団地造成を行い人口も増えた。ランキングで上位にあるので良さをどう生かすかが課題である。

答 根本七太議員

人口が増えて始めて上位にランキングされるので、地域の良さを見いだす事も大事である。

問（市民）本宮市・大玉村には産科がない。産科がないのに人を増やすと言っているのも如何なものか。いざという時は救急車で行っている。人口を増やす原点である。

答 根本七太議員

安達地方議長会でも要望している。

問（市民）合併浄化槽の補助率はいくらですか。

答 根本七太議員

維持管理費は年7000円、新設は後日で報告させていただきます。

問（市民）昨年、行政区長をさせて頂き、区の行事（環境美化等）で10事業以上やっても予算的にそれ以上出ない。昨年12～13事業をやりました。草刈り、缶拾いをやっている区には予算を入れて戻してやるという事を考えないとだんだんやらなくなってしまう。積極的にやっている区を見殺しにしないような対応をして頂きたい。ボランティア（缶拾い等）の評価について、表彰してやるとか表彰判断は難しいがそのような捉え方を検討して頂きたい。建設業は評価点の関係で缶拾いとかを行っているが、民間はやっても何にもない。やったものをどうするか捉えてほしい。市ではしっかりと取り組まないと民間ではなかなか出来ないのでは、表彰等も例である。積極的にやっているところには対応してやるという対策をすれば盛り上がるのではないか。

答 根本七太議員

区の事業10以上やっても補助が頭打ちなので、それ以上やればもっと良くなるのではないか。缶拾いボランティアの件で、市政だよりも人物を掲載し意識が変わるのではと思ったが、なぜ自分もやっているのにあの方なのと言うことにもなるので、もう少し待って頂きたいという話を頂いた。

意見交換の座長を降ろさせていただきます。ありがとうございました。

渡辺忠夫議員

夜分にも係わらず大勢の参加の中、貴重な意見をたくさん頂き、ありがとうございました。出された意見はすぐに答えが出ないものは後日報告させていただきます。議会は執行機関ではないので、いろいろな意見を頂きましたが、市長へ伝えるもの、議会としてどう対応するものを分けていきたいと思っております。

【午後8時30分閉会】